

# さいたま言語研究

## 第1号

### 【研究論文】

- 「もう」はどのようにフィラーになったか  
ーフィラー化の経路とフィラーの機能ー 小出 慶一 … 1
- 次元形容詞「深い」にかかわる経験的基盤について 金 善花 … 12
- 複合動詞「～こむ」について  
ー日中対訳の観点からー 李 潔 … 28
- 日本語と韓国語のフィラーの対照研究  
ー「まあ」と「뭐」を中心にー 金 聖実 … 40
- テイル用法の一研究  
ー中国人日本語学習者の習得状況を巡ってー 張 瑞深 … 51
- 「ていく・てくる」と“去・来”の日中対照研究 陳 湘奉 … 59

### 【2016 年度研究大会】

- 研究大会の報告および発表の要旨 … 73

2017 年 3 月

さいたま言語研究会

# さいたま言語研究会

## 【会則】

### 1. 名称

さいたま言語研究会と称する。

### 2. 目的

本研究会は、埼玉大学における言語研究の発展に資することを目的とし、理論言語学言語教育実践まで、幅広く学術情報を発信する。

### 3. 活動内容

- (1) 年に1回（12月）、研究大会を開催する。
- (2) 年に1回（3月）、オンラインジャーナル（さいたま言語研究）を発行する。
- (3) 年に数回、勉強会を開催する。

### 4. 運営委員（2016年度）

- (1) 顧問：小出慶一、仁科弘之
- (2) 世話役：金井勇人、川野靖子
- (3) 幹事：河正一

## 【入会の手続き】

### 1. 入会希望の方は「入会申し込み」と明記した上、メールで以下の情報をお知らせ下さい。

- (1) 名前（漢字及びローマ字）
- (2) 住所
- (3) 電話番号
- (4) メールアドレス
- (5) 所属（学生ではない場合は勤務先）
- (6) 専攻分野

### 2. 本研究会では、年会費の徴収は行いません。ただし、研究大会の開催時に、参加者から参加費（500円）をいただきます。

# 『さいたま言語研究』

## 【投稿規定】

1. 投稿原稿の種類は、以下の3つとする。
  - (1) 研究論文：独創性と新規性があり、言語研究の進展に貢献する実証的もしくは理論的研究（12 頁程度）。
  - (2) 研究ノート：言語研究を活性化させる契機となりうる知見や問題提起など（10 頁程度）。
  - (3) 研究資料：言語研究に関する資料や情報など（8 頁程度）。
2. 応募締切：毎年 2 月 28 日
3. 提出先：saitamagengoken@gmail.com
4. 結果：査読・検討の上、投稿者には 3 月 10 日までに結果を連絡する。
5. 発行：毎年 3 月 31 日

---

## さいたま言語研究 第 1 号

発行日	2017 年 3 月 31 日
発行者	さいたま言語研究会
Homepage	<a href="https://www.saitamagengoken.org/">https://www.saitamagengoken.org/</a>
E-mail	<a href="mailto:saitamagengoken@gmail.com">saitamagengoken@gmail.com</a>

# *Saitama Gengo Kenkyu*

*vol.1*

*2017. 3*